

## 06.ダーリングハーバー・キャプテンクッククルーズ



ダーリングハーバーはかつて貿易港として栄えた後に工場や造船所の残骸が立ち並ぶ廃墟と化した場所を 1988 年に建国 200 年を記念して大規模に再開発されたエリアでコックル・ベイを取り囲むように、水族館、シアター、レストラン、ショッピングセンター、ホテル等が建ち並び、観光、グルメ、ショッピングと 1 日中楽しむ事が出来る日本ではお台場や横浜のようなエリアである。その中でもクルーズはこのエリアではもっとも身近な存在となっており利用客も多い。オペラハウスやハーバーブリッジを、海から見ることのできるクルーズは何種類も出ている、ランチクルーズやモーニングクルーズなどもある。今回キャプテンクックディナークルーズを利用し、湾内を一週回りながらシドニーの街を海側から見る事が出来た。ハーバーブリッジを挟んで南側にはオペラハウスを代表にエンターテイメント施設が張り付くように配置され、北側には静かな住宅街が広がる。この湾が観光的な意味合いを持つと共にスケールの違う街の 2 面性を上手く緩衝し、繋いでいると感じた。

竹内聡洋